

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

No.26

平成28年7月4日(月)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

響くあいさつ、輝く笑顔・・・毎朝もらう宝物

『おはようございま～～～す！』 学校前の国道に、道の向こうの方から笑顔と共に大きな声が響きます。通り過ぎる車の音や雨の音にも負けないような明るく元気な声です。

それは、男の子の声だったり、女の子の声だったり。1年生の可愛い声だったり、高学年の少し低くなった声だったり。1人の声だったり、息を合わせた2・3人の響き合う声だったりします。

きちんと立ち止まり、丁寧にお辞儀をしてあいさつする子どもたくさんいます。

こんなあいさつの声を聞き、笑顔を見ると清々しく、そして心地良くて、自然とこちらも笑顔になれます。「ああ、今日も元気に登校してきただね。仲良く楽しい一日になるといいね。」という気持ちになります。東小学校の一日の始まりに、私は毎日、子ども達からこんな素敵な宝物をもらっています。

4月の入学式の式辞の中で、「あいさつは魔法の言葉です」とお話しました。私たちの日常生活の中には、「おはようございます」「こんにちわ」「さようなら」「ありがとう」等いろいろなあいさつの言葉があります。「あいさつ」は、まず自分の心を開くこと、そして相手への敬意の表れであり、礼儀であり、更には人と人との良好なコミュニケーションの第一歩です。何気ないあいさつの一言が、自分や相手の心を開き、相互に良い気持ちになることができます。温かく優しい言葉は、相手を思いやる温かく優しい心と行動に繋がります。

本校の子ども達の様子を見てみると、よくあいさつしていると思います。先日お知らせしましたように地域の方からお褒めの電話も頂きました。あいさつをしない子どもはいません。

ですが、最初に書いたように元気な声でハキハキとあいさつする子、ちゃんと相手の顔や目を見てあいさつする子、自分からあいさつする子がいる一方、あいさつされてからあいさつする子、うつむいたままあいさつする子、声が小さい子、学校ではできるが他ではできていない子など子どもによって差があることも事実です。

『素直な心』と『礼儀正しさ』は、どんな学歴にも勝る、「人生のお守り」となります。

下の詩にあるように、あいさつは、心を開き合い、人を心地よくするだけでなく、自分自身の気持ちや行動を後押しするものでもあります。

「させられるあいさつ」ではなく「いつでも、どこでも、誰にでも、進んであいさつ自分から！」が自然と実践できる子ども達になってほしいとの願いを持って指導しています。

ご家庭でも「あいさつ」を交わされていますか？

「おはよう」「ただいま」「おかえりなさい」何気ない言葉ですがとても大切だと思います。

『あいさつ』

「おはよう」というと目が覚める
「いただきます」というとお腹がすく
「いってきます」というと元気にいける
「ありがとう」というと気持ちがいい
「ごめんなさい」というとほっとする
「おやすみなさい」というといい夢みられる
あいさつってうれしいな



愛知県乙川東小学校 福島圭一郎くんの作

五月の朝日と 五月の若葉
きらきらと輝いて とてもきれいだ
まるで 朝のあいさつを
交し合っているようだ
あいさつは
心のとびらを 開き合うことだ
心と心が つながると
光がさして
互いに パツと 輝き合うのだ
開き合う 心には
さわやかな 風が渡る
気持ちよい 時間が訪れる
あいさつと 笑顔があれば
何でも うまくいきそうだと
心と体に 快いものから
幸せは 始まっていくものだから

あいさつの詩

作者不詳

